

パナマ内政・外交（2020年4月定期報告）

【ポイント】

○20日、民間航空庁は、3月22日からの国際便の一時停止措置を更に30日間延長する旨発表した。

○27日、コルティソ大統領は、ムニョス大統領府次官の辞任を公表し、翌28日付で、カルロス・ガルシア氏を新しい大統領府次官に任命した。

【本文】

●内政

1 大統領府次官の交替

27日、コルティソ大統領は、ムニョス大統領府次官の辞任を公表し、翌28日付で、カルロス・ガルシア氏を新しい大統領府次官に任命した。ガルシア氏は、トリホスPRD党政権（2004-09年）で大統領府次官やトクメン空港公社総裁を歴任し、2020年1月以降、上下水道庁（IDAAAN）事務局長を務めていた人物。

2 新型コロナウイルスの感染拡大を受けたパナマ政府等による主な対応

（1）20日、民間航空庁は、2020年3月22日からの、公衆衛生を理由とする、パナマ発着の全ての国際便を30日間一時停止する措置を、4月22日午後11時59分より更に30日間延長する旨発表した。

（2）21日、保健省は、3月19日付政令第500号による、パナマ国内全域における全ての商業施設及び自然人並びに法人企業に対する一時的閉鎖措置を、国家非常事態宣言の取下げまで維持する旨発表した。

●外交

1 新型コロナウイルスの感染拡大を受けた第三国からの支援

（1）3日、保健省は、中国からの5つのポータブル人工呼吸器の供与につき発表した。

（2）22日、外務省は、新型コロナウイルス予防のため、Wei Qiang当地中国大使を通じ、中国政府からマスク及び医療ガウンの供与を受けた旨発表した。

（3）28日、フェレル外務大臣は、ジャイシャンカル印外務大臣とビデオ会談を行い、同国から17種の異なる医薬品の供与を受けることとなった旨発表した。

（4）29日、外務省は、中国政府より、新型コロナウイルスの検出と感染拡大緩和に向け第一線で働く人々のための医療品の供与を受けた旨発表した。

2 エクアドルに対する全米保健機関（PAHO/OPS）の支援への協力

4日、外務省は、地域の国々との連帯の精神に基づき、パナマが人道的ハブと

して、専門家及び必要物資を、新型コロナウイルス
のパンデミックに晒されている国の一つであるエクアドルに対して送るというP
AHOの支援に協力した旨発表した。

(了)